

(法第 28 条第 1 項関係「前事業年度の事業報告書」)

令和 7 年度の事業報告書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 大分環境カウンセラー協会

1 事業の成果

令和 7 年度は以下の事業を実施した。

(1) NPO 法人大分環境カウンセラー協会主催 研修会・環境調査等

会員相互の研修と環境省環境カウンセラー・大分県環境教育アドバイザーの育成や他のネットワークづくりを目的とし、協会会員および協会関係者による自主事業（室内講座）を実施した。

(2) 全国環境月間行事

大分市環境展に出展

- ・出展名 『水をきれいにする微生物を知ろう』
- ・大分市内の河川に生息する微生物を顕微鏡で観察
- ・同上の微生物の顕微鏡写真を展示した。

(3) OEC 野外研修会 大野川探鳥会【共催事業】(バードウォッチング)

大野川探鳥会は、毎奇数月第 2 日曜日に実施される事業である。主催団体は（公財）日本野鳥の会大分県支部であるが、当協会メンバーの専門分野での貢献にも期待され、主催団体に連携・協働する共催団体として平成 27 年 1 月より継続的に参画してきた。

本年度も 5 月第 2 日曜～翌年 3 月第 2 日曜にかけて、毎奇数月に年 6 回実施した。

(4) 県営都市公園里山利活用推進事業（委託事業）

本事業は、大分県（土木建築部）、大宣と連携・協働して、大分スポーツ公園内の里山林などの里山環境を保全するために、大分スポーツ公園里山保全活動業務委託の事業形態で実施するものである。

したがって、本事業の目的は、大分スポーツ公園建設に伴う「里山保全対策」における ①保全効果を把握するための環境モニタリング調査、②補足的な保全活動（保全・再生箇所の維持支援活動を含む）、③保全に対する理解の輪を広げるための普及活動を、環境の専門家や NPO 法人との連携・協働で実施するものである。

昨年度も、大分県、大宣、日本文理大学等の多様な立場による実践でほぼ達成できたと評価している。また、本年度も、その成果を活かして本公園内の里山環境の保全の輪を広めることができたと考えている。

(5) 鳥類調査事業（大分県内の環境保全を 目的にした鳥類調査事業）

今年度は支出予算を縮小するためにも、大分県内のおもに水辺および里山環境に関する鳥類調査全般に貢献する事業として実施した。

(6) 「里山再生モデル林」活用事業（「南の国のイーハトーブ」創生事業①）

国東市の安岐川の支流・荒木川上流域に位置する社会福祉法人（障がい福祉）「三角ベース」所有の放置里山林を、OEC および日本造園修景協会県支部等との連携・協働により、5 年の歳月をかけて「里山再生モデル林」にしてきた。本年度も、これまで培ってきた信頼関係に基づき、その活用事業を実施した。

(7) 「環境図書館（エコライブラリー）」活用事業（「南の国のイーハトーブ」創生事業②）

国東市の安岐川の支流・荒木川流域に位置する社会福祉法人（障がい福祉）「三角ベース」との連携・協働事業により、これまで培ってきた信頼関係から、令和3年度から「三角ベース」施設内に「環境図書館」を創設することができた。本年度は、NPO法人おおいたNPOデザインセンターや「SAVE JAPANプロジェクト」のご支援、おおいた共創基金の補助金を受けることで、より積極的に関連事業とコラボして「環境図書館」を“荒木川流域活動の拠点”＝“南の国のイーハトーブ・センター（南国の理想郷の拠点）”として有効に活用することができた。その結果、これまでに活躍してこられた多様な人材を有機的につなげる支援事業としても展開することができた。

(8) 国東市・荒木川河口探鳥会事業【共催事業】（「南の国のイーハトーブ」創生事業③）

本事業は、宮沢賢治の“生命観・宇宙観・故郷観”を踏まえた“流域単位の持続可能な故郷づくり”実践事業の一環として、本年4月第2日曜～翌年2月第2日曜にかけて、毎偶数月に実施した。次年度からは、地元組織のニーズに合わせて、荒木川全流域（上流・中流・下流・河口）において、不定期で実施していきたい。

(9) 国東市や県内小中高生等も対象にした学校教育・社会教育事業

（「南の国のイーハトーブ」創生事業④）

本年度も、NPO法人チーム1.5おおいた主催による国東市内を対象にした環境教育活動、豊後大野市主催の環境教育活動など、大分県内の社会教育活動を支援実施した。

(10) 大分県内の樹林・樹木保護事業

大分県内の樹林・樹木保護 および 樹林・樹木等の活用に関する講習会等を実施するにあたり、その講師等の下見・打合せをして、日本造園修景協会等と連携し実施した。

(11) OECによる他団体との連携・協働事業

本年度は、三角ベース「1000年ゆめ農場（10ha）」の自然環境を、「SAVE JAPANプロジェクト」のご支援（調査実費）も受けながら調査することができた。その結果、国東市の三角ベースと共催団体として連携・協働することで、三角ベース「1000年ゆめ農場（10ha）」が国の「自然共生サイト」に認定されるという成果を得ることができた。

(12) 水質浄化対策事業（大分市・裏川放水路における水質浄化作戦事業）（その5）

令和3年度からの継続事業として実施。

アクアサービス K.K 製の底質改善剤アクアリフト（国交省推奨）を主体に底質改善に努めていたが、令和7年度後半からはEM菌（有用な微生物群：Effective Microorganisms）団子（社会福祉法人 樫の木製）を使用して、裏川本川と支流七歩川上流のヘドロ対策を行った。

裏川本川にも支流にも、下水の排水口が多く開いており、家庭排水や工場排水の垂れ流しが見られ、中々底質改善剤の効果が見られないのが残念である。市の環境対策課には現状を訴えたいと思うが、現在、市内滝尾地区で下水道工事が行われているので、その進捗に期待したいところである。

(13) 助成金情報収集・実施検討事業

OEC資金獲得のための手段として、環境助成金の情報収集、およびその助成事業の獲得をめざすことを目標にした検討・打合せを行った。その結果、14)の補助金を採択される成果を得た。

(14) ふるさと創生 NPO 連携促進事業

本年度は、「おおいた共創基金」の 14) の補助金が採用されたことで、三角ベース施設内に位置する「環境図書館」において、数多くの関連事業をより積極的に展開することができたことで、「環境図書館」を“荒木川流域活動の拠点”＝“南の国のイーハトーブ・センター（南国の理想郷の拠点）”として有効に活用することができた。また、その事業実施の副産物として「環境図書館」内の図書や教材群も充実することになった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位：千円)
環境保全のための社会啓発及び環境教育の推進に関する事業	(1) NPO 法人大分環境カウンセラー協会主催 研修会・環境調査等	(A) 令和 7 年 6 月 1 日 (日) (B) 大分市東部公民館 (2 階視聴覚室) 大分市 坂ノ市公民館 (2 階 第 3 研修室) (C) 4 名	(D) 一般市民 会員 (E) 約 15 名	10
	(2) 全国環境月間行事 (大分市環境展に出展)	(A) 令和 6 年 6 月 7 日 (土) (B) 大分市竹町ギャラリー竹町ドーム広場 (C) 3 名	(D) 一般市民 会員 (E) 不特定多数	11
持続可能な社会のための環境保全と循環型社会形成の推進に関する情報、資料の収集、助言、支援、出版事業並びに調査研究に関する協働事業	(3) OEC 野外研修会 大野川探鳥会【共催事業】(バードウォッチング)	(A) 令和 7 年 5 月 11 日 (日) 7 月 13 日 (日) 9 月 14 日 (日) 11 月 9 日 (日) 令和 8 年 1 月 4 日 (日) 3 月 1 日 (日) (B) 豊後大野市三重町 菅生石仏 駐車場 ～大野川河川 (C) 2 名	(D) 一般市民 会員 (E) 約 20 名	13
	(5) 鳥類調査事業 (大分県内の環境保全を目的にした鳥類調査事業)	(A) 令和 7 年 8 月 30 日 (土) 9 月 14 日 (日) 9 月 25 日 (木) 10 月 7 日 (火) 12 月 27 日 (土) 令和 8 年 1 月 24 日 (土) (B) 高島、佐賀関半島 (C) 3 名	(D) 当該事項の研究者等 (E) 不特定多数	54
	(6) 「里山再生モデル林」活用事業 (「南の国のイーハトーブ」創生事業①)	(A) 令和 7 年 4 月 1 日 (火) ～令和 8 年 3 月 31 日 (火) (B) 国東市安岐地区の荒木川上流域里山林 (C) 2 名	(D) 当該事項の研究者等 (E) 不特定多数	33
	(8) 国東市・荒木川河口探鳥会事業【共催事業】 (「南の国のイーハトーブ」創生事業③)	(A) 令和 7 年 4 月 1 日 (火) ～令和 8 年 3 月 31 日 (火) (B) 国東市・荒木川河口 (C) 3 名	(D) 一般市民 会員 (E) 約 20 名	26
(12) 水質浄化対策事業 (大分市・裏川放水路における水質浄化作戦事業・ (その 5))	(A) 令和 7 年 4 月 1 日 (火) ～令和 8 年 3 月 31 日 (火) (B) 大分市・裏川放水路 (C) 2 名	(D) 当該事項の研究者等 (E) 不特定多数	39	
環境保全型・防災型まちづくり推進のための啓発助言、調査、企画、	(10) 大分県内の樹林・樹木保護事業	(A) 令和 7 年 4 月 1 日 (火) ～令和 8 年 3 月 31 日 (火) (B) 大分市内 (C) 2 名	(D) 当該事項の研究者等 (E) 不特定多数	8

設計に関する事業	(11) OEC による他団体との連携・協働事業	(A) 令和7年4月1日(火) ～令和8年3月31日(火) (B) 国東市・三角ベース (C) 2名		10
行政、学校、環境ボランティア、市民団体等との環境パートナーシップの形成支援事業	(7) エコライブラリー創設事業 〔「南の国のイーハトーブ」 創生事業②〕	(A) 令和7年4月1日(火) ～令和8年3月31日(火) (B) 国東市安岐地区の荒木 川下流域・三角ベース施設 (C) 3名	(D) 当該事項 の研究者等 (E) 不特定多数	45
	(9) 国東市や県内小中高生等も 対象にした学校教育・社会 教育事業 〔「南の国のイーハトーブ」 創生事業④〕	(A) 令和7年4月1日(火) ～令和8年3月31日(火) (B) 宇佐市立津房小学校、国 東市をはじめ大分県内の 小・中・高校生 (C) 2名	(D) 当該事項 の研究者等 (E) 不特定多数	13
諸外国、環境省、 経済産業省、国土 交通省、農林水産 省並びに県、市町 村等の行政機関と その関係機関や関 係団体からの環境 保全に関する協働 事業及び受託事業	(4) 県営都市公園里山利活用推 進事業（大分県受託事業）	(A) 令和7年4月1日(火) ～令和8年3月31日(火) (B) 県営スポーツ公園 (C) 3名	(D) 当該事項 の研究者等 (E) 不特定多数	770
	(14) ふるさと創生NPO連携促進 事業	(A) 令和7年4月1日(火) ～令和8年3月31日(火) (B) 大分市内 (C) 2名	(D) 当該事項 の研究者等 (E) 不特定多数	1,000

■ 令和7年度は以下の事業は行っていない。

- ・ 自然再生並びに自然とのふれあいによる農業、林業、漁業との調和に関する事業
- ・ 地球温暖化防止に関する情報支援、資料の収集、出版及び実践調査に関する受託事業
- ・ 「環境カウンセラー制度」の普及啓発に関する協働研修育成事業

■ その他事業は行っていない。

令和7年度 活動計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

特定非営利活動法人 大分環境カウンセラー協会

(単位：円)

科 目	金	額
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員、準会員、入会金	100,000	
未収会費	20,000	120,000
2 受取寄附金	280,000	280,000
3 受取助成金等	0	0
4 事業収益		
(1) NPO法人大分環境カウンセラー協会主催研修会	0	
(2) 大分市環境展への出展	10,000	
(3) OEC野外研修会「大野川探鳥会」	0	
(4) 県営都市公園里山利活用推進事業	770,000	
(5) 鳥類調査事業	0	
(6) 里山再生モデル林活用事業	0	
(7) エコライブラリー創設事業	0	
(8) 国東市・安岐川河口探鳥会事業	0	
(9) 国東市をはじめとする学校教育・社会教育の支援事業	0	
(10) クマタカの生態・保護情報の収集整理事業	0	
(11) 大分川河道内樹林対策事業	0	
(12) 水質浄化対策事業	0	
(13) 大型風力発電対策検討事業	0	
(14) ふるさと創生NPO連携促進事業	1,000,000	1,780,000
5 その他収益		
受取利息	47	
雑収入	0	47
経常収益計		2,180,047
1 事業費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
謝金	510,000	
貸借料	0	
材料費	159,000	
旅費交通費	213,500	
消耗品費	524,919	
印刷製本費	62,000	
保険料	25,680	
通信費	65,820	
事務用品費	153,712	
会議費	263,500	
事務局費	60,000	
その他経費計	2,038,131	
事業費計		2,038,131
2 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
(2) その他経費		
通信費	3,715	
会議費	1,500	
事務用品費	0	
事務局費	60,000	
その他経費計	65,215	
管理費計		65,215
経常費用計		2,103,346
当期経常増減額		76,701
III 経常外収益		
1 固定資産売却益		0
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
1 過年度損益修正損		0
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		76,701
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		76,701
前期繰越正味財産額		180,319
次期繰越正味財産額		257,020

令和7年度 貸借対照表

(令和8年3月31日現在)

特定非営利活動法人 大分環境カウンセラー協会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	237,020	
会費未収金	20,000	
流動資産合計		257,020
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		257,020
II 負債の部		
1 流動負債	0	
流動負債合計		0
2 固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		180,319
当期正味財産増減額		76,701
正味財産合計		257,020
負債及び正味財産合計		257,020

令和7年度 財産目録

(令和8年3月31日現在)

特定非営利活動法人 大分環境カウンセラー協会

(単位：円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金	110,536	
郵便貯金	126,484	
未収金	20,000	
流動資産合計		257,020
2 固定資産		
(1)有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		257,020
II 負債の部		
1 流動負債	0	
流動負債合計		0
2 固定負債	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		257,020